



リモート プレゼンスの管理

この章の内容は、次のとおりです。

- [Serial over LAN の設定, 1 ページ](#)
- [仮想メディアの設定, 2 ページ](#)
- [KVM コンソール, 3 ページ](#)
- [仮想 KVM の設定, 3 ページ](#)

Serial over LAN の設定

Serial over LAN を使用すると、管理対象システムのシリアルポートの入出力を IP 経由でリダイレクトできます。ホストコンソールへ CIMC を使用して到達する場合は、サーバで Serial over LAN を設定して使用します。

はじめる前に

Serial over LAN を設定するには、管理者権限のあるユーザでログインする必要があります。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。
- ステップ 3 [Remote Presence] ペインの [Serial over LAN] タブをクリックします。
- ステップ 4 [Serial over LAN Properties] 領域で、次のプロパティを更新します。

名前	説明
[Enabled] チェックボックス	オンにすると、このサーバで Serial over LAN がイネーブルになります。

名前	説明
[Baud Rate] ドロップダウン リスト	システムが Serial over LAN 通信に使用するボー レート。 次のいずれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 9600 bps • 19.2 kbps • 38.4 kbps • 57.6 kbps • 115.2 kbps

ステップ 5 [Save Changes] をクリックします。

仮想メディアの設定

はじめる前に

仮想メディアを設定するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。
- ステップ 3 [Remote Presence] ペインの [Virtual Media] タブをクリックします。
- ステップ 4 [Virtual Media Properties] 領域で、次のプロパティを更新します。

名前	説明
[Enabled] チェックボックス	オンにすると、仮想メディアがイネーブルになります。 (注) このチェックボックスをオフにすると、すべての仮想メディア デバイスはホストから自動的に切断されます。
[Active Sessions] フィールド	現在実行されている仮想メディア セッションの数。
[Enable Virtual Media Encryption] チェックボックス	オンにすると、すべての仮想メディア通信は暗号化されます。

ステップ 5 [Save Changes] をクリックします。

KVM コンソール

KVM コンソールは CIMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウス (KVM) の直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場所からサーバに接続できます。

サーバに物理的に接続された CD/DVD ドライブまたはフロッピー ドライブを使用する代わりに、KVM コンソールは仮想メディアを使用します。これは、仮想 CD/DVD ドライブまたはフロッピー ドライブにマップされる実際のディスク ドライブまたはディスク イメージファイルです。次のいずれでも仮想ドライブにマップできます。

- コンピュータ上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- コンピュータ上のディスク イメージファイル (ISO または IMG ファイル)
- コンピュータ上の USB フラッシュ ドライブ
- ネットワーク上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- ネットワーク上のディスク イメージファイル (ISO または IMG ファイル)
- ネットワーク上の USB フラッシュ ドライブ

KVM コンソールを使用してサーバに OS をインストールできます。



(注) Windows Server 2003 上の Internet Explorer 6 SP1 から KVM コンソールを起動すると、必要なファイルをダウンロードできないことがブラウザから報告されます。この場合は、ブラウザの [Tools] メニューをクリックし、[Internet Options] を選択します。[Advanced] タブをクリックし、[Security] セクションで [Do not save encrypted pages to disk] のチェックボックスをオフにします。KVM コンソールを再度起動します。

仮想 KVM の設定

はじめる前に

仮想 KVM を設定するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。
- ステップ 3 [Remote Presence] ペインの [Virtual KVM] タブをクリックします。
- ステップ 4 [Virtual KVM] タブで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Enabled] チェックボックス	オンにすると、仮想 KVM がイネーブルになります。 (注) 仮想メディア ビューアには KVM を使用してアクセスします。KVM コンソールをディセーブルにすると、CIMC はホストに接続されているすべての仮想メディア デバイスへのアクセスもディセーブルにします。
[Max Sessions] ドロップダウン リスト	許可されている KVM の同時セッションの最大数。選択できる数値は 1 ~ 4 です。
[Active Sessions] フィールド	サーバで実行されている KVM セッションの数。
[Remote Port] フィールド	KVM 通信に使用するポート。
[Enable Video Encryption] チェックボックス	オンにすると、サーバは KVM で送信されるすべてのビデオ情報を暗号化します。
[Enable Local Server Video] チェックボックス	オンにすると、KVM セッションはサーバに接続されているすべてのモニタにも表示されます。

- ステップ 5 [Save Changes] をクリックします。

仮想 KVM のイネーブル化

はじめる前に

仮想 KVM をイネーブルにするには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。
 - ステップ 3 [Remote Presence] ペインの [Virtual KVM] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Virtual KVM] タブで、 [Enabled] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5 [Save Changes] をクリックします。
-

仮想 KVM のディセーブル化

はじめる前に

仮想 KVM をディセーブルにするには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。
 - ステップ 3 [Remote Presence] ペインの [Virtual KVM] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Virtual KVM] タブで、 [Enabled] チェックボックスをオフにします。
 - ステップ 5 [Save Changes] をクリックします。
-

